

絵と編物でみる

Paintings and Knitting - The Artworks of Hiroko Kato

加藤博子の作品世界

会期：**2026**年**5**月**2**日(土) - **6**月**7**日(日)

会場：国立ハンセン病資料館企画展示室

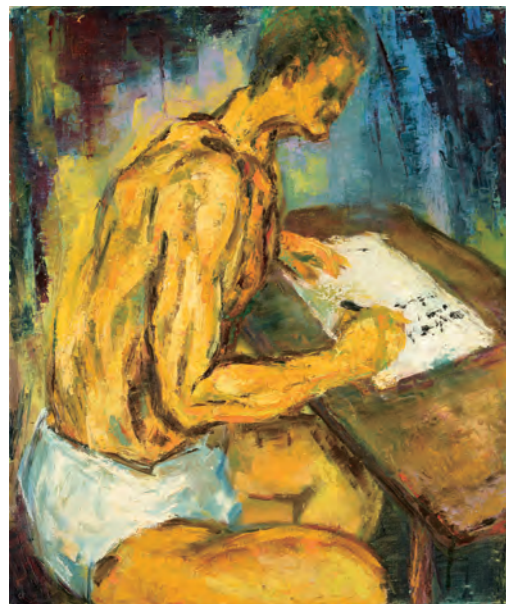


初めての父との旅の後に来る別離としらぬ少女なりにき

加藤博子『藤楓文芸』第28刊（藤楓協会、1997年）



絵と



10

加藤博子「卒業にあたり」(全忠協ニュース) 1963年4月1日号

入学当時、単に「好き」そのみだった美術が、私の中に大きい存在を示してくるようになった。深く追求したい。それを通して、人生の姿、人間の本質、虚飾の虚しさを知りたい。

絵と編物でみる 加藤博子の作品世界

Paintings and Knitting - The Artworks of Hiroko Kato

2025年12月2日に逝去した加藤博子さんの活動をたどるギャラリー展「絵と編物でみる 加藤博子の作品世界」を開催します。

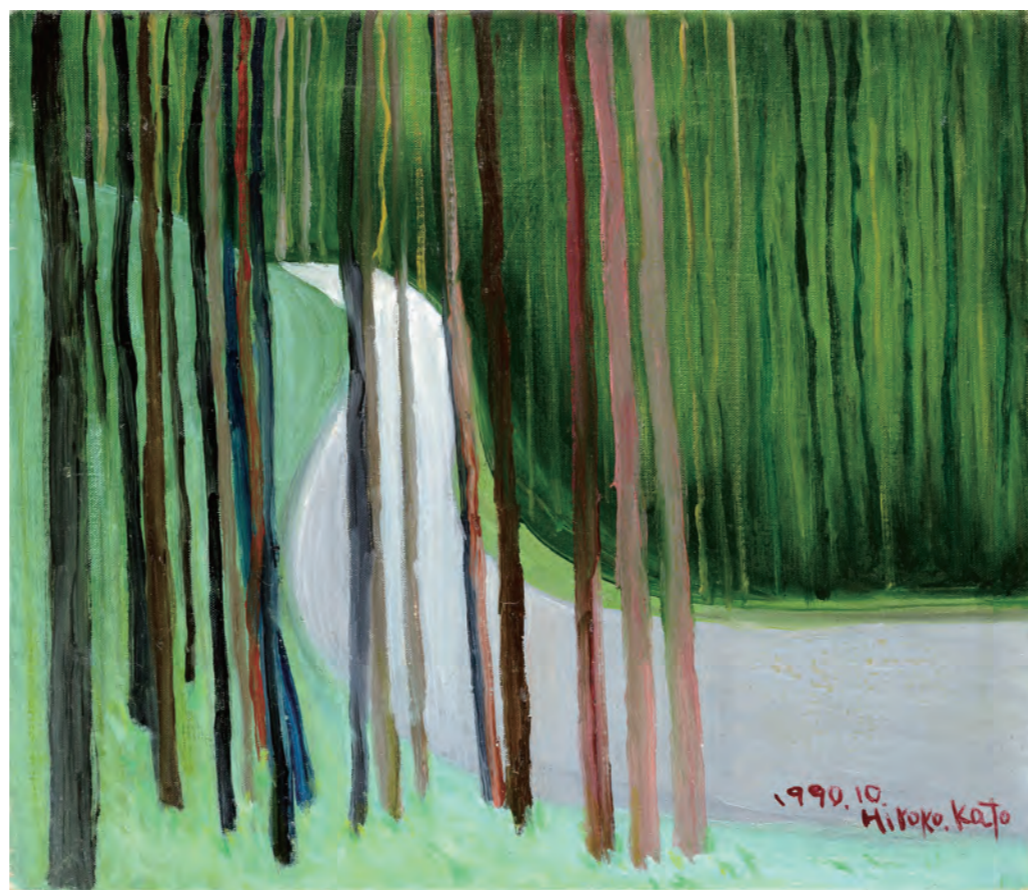
加藤さんは1943年生まれ、12才で静岡県にある駿河療養所に入所しました。その後、岡山県にある長島愛生園の邑久高等学校新良田教室に進学。好きだった絵画制作に熱中し、美術展などへの入選を重ねました。その後、駿河療養所で結婚。夫との社会復帰と駿河療養所への再入所を経験します。社会復帰にあたっては絵画制作を中断し、編物の技術を習得。経済的な自立と新しい生き方を模索しました。

彼女は療養所の中での数少ない女性の描き手でもありました。本展では、隔離下の苦難に直面しながらも、生涯を通して表現活動を続けた加藤さんの絵と編物を中心に展示します。生きることの尊厳が色濃く刻まれているそれらを、ぜひご覧ください。

国立ハンセン病資料館



03



05

編物



14



13

Leprosy.jp People / ハンセン病に向き合う人びと 加藤博子より
<https://leprosy.jp/people/katohiroko/>

編み物は1本の糸から出来ているので失敗しても、解いたりやり直したりできる。それらは貧しさも含めた不自由な制約の中から生まれた仕事でした。

作品リスト

各作品（資料）は、作品（資料）番号、作品（資料）名、制作年、材料（技法）、寸法縦×横（mm）の順に掲載した。
所蔵先は19（個人蔵）を除き、すべて国立ハンセン病資料館。
作品番号は展示の順序と一致するものではない。

01 自画像 1972年9月 石膏ボード・油彩 410×310	07 水仙とみやこわすれ 1992年12月 キャンバス・油彩 455×380	13 靴下 1980年代 毛糸 右：140×159、左：129×225	19 八重樫信之撮影「加藤健・博子夫妻」 2017年 写真プリント 285×425
02 海 1962年頃 板・油彩、砂 606×922	08 流れ(2) 1990年 キャンバス・油彩 910×727	14 青いスカート 1980年代 毛糸 710×705	20 加藤博子ニットデザイン掲載誌 1980年—1985年 印刷物 286×210、256×207など
03 黄瀬川 1973年 キャンバス・油彩 500×600	09 風景 2007年 キャンバス・油彩 915×1167	15 黄ロングニット 1980年11月 毛糸、布 757×1237	21 編み方見本帳 不詳 紙、毛糸、ペン H430×W309×D90
04 黄瀬川の清流 1972年～1973年、2009年に加筆 キャンバス・油彩 905×1160	10 労働者の夜 1970年より以前 キャンバス・油彩 453×370	16 黄ロングニットのためのスケッチ 1980年11月 紙 297×210	22 編棒一式と収納袋 不詳 布、木材、プラスチック 450×1440
05 道 1990年10月 キャンバス・油彩 460×530	11 セーター、午後の情景 1980年代 毛糸 575×1387	17 紫のチュニック 1980年代 毛糸、プラスチック 780×1170	23 画材収納カバン 1959年 木材、アルミニウム、油絵具、紙 H403×W390×D55
06 鉄塔のある風景 1992年2月 キャンバス・油彩 163×227	12 セーター 夜の情景 1980年代 毛糸 580×1390	18 加藤健さんのセーター 1980年代 毛糸 665×1495	24 同人誌『あげ潮』（あげ潮の会） 第7号（1964年、7月）第8号（1964年、8月） 紙 各226×163

関連イベント

担当学芸員によるギャラリートーク

5月3日（日）、5月5日（火）、5月10日（日）、6月7日（日）

会場：国立ハンセン病資料館 2階 企画展示室

時間：各回 14：00-14：40

参加無料・事前予約不要

関連講座「存在の証明に向かって—加藤博子の活動と作品」

講師：吉國元（国立ハンセン病資料館学芸員）

会場：国立ハンセン病資料館 1階 映像ホール

日時：5月17日（日）14：00-15：30

参加無料・事前申込制（定員：先着130名）



講師



展覧会HP
講座のお申
込はコチラ



国立ハンセン病資料館

〒189-0002 東京都東村山市青葉町4-1-13

TEL：042-396-2909

URL：https://www.nhdm.jp/

開館時間：9：30～16：30（入館16：00まで）

休館日：月曜および国民の祝日の翌日

※出品作品・イベントの内容は予告なく変更する場合があります。詳しくは展覧会HPでご確認ください。